



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	プログラム/パネルディスカッションの趣旨/パネルディスカッション登壇者プロフィール
Author(s)	山村, 高淑
Description	第9回観光創造フォーラム「サブカルチャーとツーリズム、そして次世代の地域振興」配布資料, 平成22年6月27日, 洞爺湖町.
Issue Date	2010-06-27
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/43206
Type	other
File Information	20100627 9th Forum Program.pdf



2010 年 6 月 27 日（日） 午前 10:00～12:00 於洞爺湖文化センター
洞爺湖温泉誕生 100 年記念事業委員会・北海道大学観光学高等研究センター共催
観光創造フォーラム（北海道大学観光学高等研究センター第 9 回観光創造フォーラム）

サブカルチャーとツーリズム、そして次世代の地域振興

本フォーラムの目的は、洞爺湖温泉 100 年の魅力を踏まえたうえで、未来に向けた地域の新たな魅力創出の可能性について議論することにあります。具体的には「次世代・創造・挑戦」をキーワードに、洞爺湖温泉が生まれ変わるための全く新しい観光の可能性と課題について検討してみたいと思います。

フォーラムでは、サブカルチャーを活かした次世代型まちおこしの成功事例・埼玉県鷺宮町（現久喜市）から商工会のご担当者をお招きし、その経験をご紹介頂くとともに、洞爺湖町の新しい魅力づくりの可能性について、アニメ制作関係者、出版関係者、商工会関係者、学識経験者によるパネルディスカッションを行います。

こうした議論を通して、既存の洞爺湖の魅力を大切にしつつも、新たな魅力を創出することで国際市場を含めた新たな客層を開拓し、町に活気と盛り上がりを取り戻す方策について皆さんと考えて行きたいと思います。

☆プログラム☆

《第一部》

1. 基調講演「アニメ・マンガが変える地域振興～サブカル観光のすすめ～」

山村高淑（北海道大学 観光学高等研究センター 准教授）

2. 基調講演「鷺宮の挑戦～ノリでここまでやってしまいました～」

坂田庄巳（鷺宮商工会 経営指導員）

松本真治（鷺宮商工会 経営指導員）

休憩

《第二部》

3. パネルディスカッション

「洞爺湖＋アニメ＋観光＝？ 地域の魅力創造の新発想」

高橋宏一（有限会社 Wish 取締役）

柿崎俊道（フリー編集者）

坂田庄巳（鷺宮商工会 経営指導員）

松本真治（鷺宮商工会 経営指導員）

トウヤブルー（洞爺湖）

岡本健（北海道大学 観光学高等研究センター RA）

司会：山村高淑（北海道大学 観光学高等研究センター 准教授）

☆パネルディスカッションの趣旨☆

洞爺湖＋アニメ＋観光＝？ 地域の魅力創造の新発想

鷺宮の事例では、『らき☆すた』というアニメコンテンツを通して、関係する人々のコミュニケーションが促進されました。そして関係者の間で、作品に対する「敬意」と「愛情」、交流における「気持ちよさ」や「楽しさ」といったことが、価値として共有されていきました。こうした交流を通して、関係者それぞれが「作品への愛情」を「地域への愛情」へと深化させ、地域社会と旅行者、地域社会と製作会社との間に、ある種の信頼・協力関係が構築されるに至りました。

確かに鷺宮町の事例は幸福な出会いに恵まれた非常に特殊な例かも知れません。しかし、客観的に分析してみると、「作品のファン」が「地域のファン」になり、地域が盛り上がっていくための、以下のような重要な要件があったことがわかります。地域の魅力創造という観点から見て、これらの要件は他の地域においても必ずや参考となる原則であると思います。

- (1) 作品（コンテンツ）そのものに高い「質」と「魅力」があったこと。
- (2) それを介して行われるコミュニケーションに「敬意」と「愛情」があったこと。
- (3) そしてそこから生まれる実際の土地での顔の見える交流に「人間味」があったこと（義理・人情、楽しさ、気持ちよさ等々…）。

本パネルディスカッションでは、こうした点を踏まえたうえで、鷺宮以外の経験もお伺いしながら、以下の三点について、多角的に議論をしてみたいと思います。

- ① 「観光資源」「まちおこしのきっかけ」としてのアニメコンテンツの可能性
…地域とコンテンツが結びつくことで、何が可能なのか？
- ② 関係者との連携の仕方、注意点。
- ③ 洞爺湖、北海道の今後の可能性。

☆パネルディスカッション登壇者プロフィール☆

☆高橋宏一（有限会社 Wish 取締役）

アニメーション制作のうち、作画・仕上げ作業の請負を主な事業内容とする国内大手の企業・Wish 取締役。練馬アニメーション協議会会員。主な作品：ガンダム（サンライズ作）・エヴァンゲリオン・その他多数。

☆柿崎俊道（フリー編集者）

『風の谷のナウシカ』等の絵コンテ集の編集、『アニメージュ』『ガンダムエース』『アニメーションRE』等のアニメ雑誌の編集に携わる。著書に『Works of ゲド戦記』（ビー・エヌ・エヌ新社）、『聖地巡礼アニメ・マンガ12ヶ所めぐり』（キルタイムコミュニケーション）、『Kirari 痛車コレクション』（アニメージュ文庫）など。

☆坂田庄巳・松本真治（鷺宮商工会 経営指導員）

『らき☆すた』とのコラボレーションをきっかけに、アニメ・マンガと観光との融合にいち早く取り組む。意表を突く商品の企画や『萌えフェス』の開催、果てはご当地映画『鷺宮☆物語』の制作まで、常にファンの度肝を抜く企画を打ち出す仕掛け人。

☆トウヤブルー（洞爺湖）

洞爺湖の観光地を楽しく紹介する洞爺湖の脱力系ヒーロー。

☆岡本健（北海道大学 観光学高等研究センター リサーチアシスタント）

専攻は情報社会における旅行者行動。日本全国のフィールドワークに奔走中。

☆山村高淑（北海道大学 観光学高等研究センター 准教授）

専攻は観光開発論・文化資源論。博士（工学）。観光庁「アニメコンテンツを活用したインバウンド振興等に関する意見交換会」座長、埼玉県アニメツーリズム検討委員会座長などを歴任。